

2013 春号

ぷらう 48号



発行：TEACCH プログラム研究会

<会長のつぶやき>

TEACCH プログラム研究会会長 内山 登紀夫

4回目の今回のコラボレーションセミナーのテーマは「性～セクシュアリティ～」です。性の問題が自閉症に関して話題になることは以前はあまりなかったと思います。とりあげられるとしても、例えば重度の自閉症の思春期の自傷や他害の「原因」が性衝動によるなど何の根拠もなく見なされたりして、問題行動が改善しないことの「言い訳」に使われてきたりしました。あるいは男児の自慰や女児の月経の手当などが話題になる程度でした。

しかし、ここ10年ほど、もう少し広義の「自閉症スペクトラムの人の性」が語られることが増えてきました。その理由はいくつか考えられます。一つは高機能自閉症やアスペルガー症候群の人たちで異性の友人を持つ人が増え、さらに結婚する人たちも増えてきたことがあげられるでしょう。最近では出産後の自閉症スペクトラムの女性の支援の重要性も指摘されています。

従来、自閉症スペクトラムの人は性的行動が少ないとか、異性に関心がないとか言われることがありました。しかし、比較的重度の人を対象にした研究でも性的な行動がみられることが、コラボレーションセミナーに今回いらっしゃるバーガディン先生などの研究などで 1990 年代から指摘され始めました。現在では自閉症スペクトラムの人の多くが何らかの性的な関心や行動をすることがわかっています。また高機能の思春期や成人の人の中にはキスなどの性的行動や性行為や出産の経験のある人も少なくないことが欧米の研究で明らかになってきています。

異性間の関係も同性間の関係も社会的交流という点では共通しています。社会的交流のあり方が定型発達とは異なる自閉症スペクトラムの人に多くの支援方法が検討されてきました。しかしながら、それらの検討はほとんどの場合同性間、あるいはグループに関するもので、1対1の異性間の社会的交流—まさに「性～セクシュアリティ～」の理解が必要な交流—については今までほとんど関心がもたれていませんでした。これは考えてみれば不思議なことです。障害の種別や有無に関わらず、すべての人が基本的人権が尊重される権利があります。基本的人権の中には性や恋愛、結婚などのセクシュアリティに関することも当然含まれます。自閉症スペクトラムの特性を考慮すれば彼らがセクシュアリティに関する権利を達成するためには支援が必要なことは明らかです。私たちは、セクシュアリティの支援にもっと目を向けるべきではないでしょうか。今回のコラボレーションセミナーはセクシュアリティの問題にもっとも早くから取り組んでこられたバーガディン先生と有益な意見交換ができる良いチャンスになるでしょう。

実践研究大会 in 石川を終えて

石川支部(実践研究大会実行委員長)笠合 竜明

春が待ち遠しい3月の実践研究大会から、気が付けばもう夏の準備が始まろうとしています。随分前だったようにも思える実践研究大会ですが、未だにその余韻から離れられないでいるのは私だけでしょうか…。

今回の実践研究大会 in 石川では、「つながる」という大会テーマのもと、1年前から準備を進めてきました。石川支部の運営委員が中心となって実行委員を構成しましたが、いつもと変わらないスタンスで、「こんな風にできたら面白いかも…」と次々にアイデアを出し合っていました。「やらなければならない」ではなく、「皆が参加したくなるような実践研を実現したい！」という想いを大切に進めてきたように思います。その結果、全国から136名の会員に足を運んでいただけました！ありがとうございました。

初日には、講師にニキ・リンコ氏をお呼びした、非会員も参加可能な「公開講座」を設けました。会員と合わせ、400名を超える大盛況となりました。ご自身の数々のエピソードを伝えていただき、参加者にとって有意義な時間になったのではないのでしょうか。

また、総会後には懇親会も設定させていただきました。希望者のみでしたが、80名のご参加をいただきました。参加者からも「美味しい海の幸や和菓子、地酒も堪能できた。素晴らしいひとときとなった！」と後に感想をいただき、ホッと胸を撫で下ろしました。また皆で交流したいですね♪

2日目は、分科会として各支部から実践報告をしていただきました。今回は報告だけでなくケース検討もおこないました。各コメンテーターも豪華な顔ぶれで、とても学びに繋がったことと思います。また、展示会もおこないました。石川県出身の天才イラストレータ、まつもと しんのすけ氏をお呼びし、似顔絵を描いていただきました。描いていただけた方々の笑顔がとても印象的でした。そして、石川支部の歴代会報、実行委員が実際に使用している支援ツールの数々を一挙に展示しました。真剣なまなざしで1つ1つを手にとってご覧になり話し合っている姿が印象的でした。

このように振り返ってみても、随所に「つながる」ことができたのではないのでしょうか。そして実は、今大会には隠れた裏テーマがありました(笑)それは「おもてなし」です。皆さんが「集まる」気持ちを持って石川に集結してくれるので、その気持ちに応えたいという想いがありました。その皆さんの想いを受け止めるには、大会を「楽しみながら学ぶ」場にしたいと思っていたのです。

TEACCHが私たちに「つながり」を与えてくれたと感じています。これから1人ではなく皆でつながり、支え合っていける支援を目指したいですね。今回の大会ではその大切さを再確認させていただきました。

最後に、関係者の皆様には深く御礼を申し上げます。すべての支部の協力があってこそ実現可能となりました。また皆さんでつながりましょう！ありがとうございました。

<第11回 TEACCH プログラム研究会 実践研究大会に参加して>

岡村 知朗(所属:神奈川支部 勤務施設:東京都七生福祉園)

同僚の勧めで今年、当研究会に入会し、実践研究大会に初参加しました。実践内容については、自分の勉強不足から理解が難しかった点もありました。しかし、施設職員の方からの実践報告を聞くなかで「利用者のより良い幸せのために何ができるか」を日々の業務の中で悩みながらがんばっている姿を尊敬するとともに、多くの心強い同志を得た気持ちになりました。井の中の蛙にならず、横のつながりが全国各地にあることは自分を奮い立たせる糧になります。私にとって TEACCH プログラムはまだまだ敷居が高いのですが、継続して参加していく中で自分の支援方法の一つの引き出しにできたらと思います。

ニキ・リンコさんは職場の研修資料に何度も登場し、「いつか話を聞いてみたい」と思っていた方で、今回お話を聞くことができ感銘を受けました。感覚や思考の違いがこんなにもあるとは思いませんでしたし、日々の支援で自分の感覚や思考を押しつけていたのではないかと反省しました。

実践報告・公開講座・分科会・懇談会等どれをとっても石川支部の方々の「おもてなし心」に感動しました。ありがとうございました。スタッフの方々、お疲れ様でした。次回も参加したいです。

ただ、心残りなのは、まつもとしんのすけさんから見た私は何の動物だろうということ。まだまだ蛙に見えていたりして…。

＜第 11 回 TEACCH プログラム研究会 実践研究大会に参加して＞
的野訓己(所属:神奈川支部 勤務施設:東京都七生福祉園)

神奈川 TEACCH プログラム研究会に入会したての的野訓己と申します。仕事は福祉型障害者支援施設の日中活動の作業支援に携わっています。今回初めて実践研究大会に参加して、支援に携わる全国の会員の方々が精力的に利用者支援に取り組み、TEACCH プログラムを研究実践されている姿に、とても良い刺激を受けました。特に分科会で、同じ支援テーマについて実力のある会員の皆様と同じ目線で共に考え、学ぶ機会を持つ事が出来た事は、私自身の支援技術を磨く上で大変良い機会を与えて頂いたと思います。

ニキリンコさんの講演会は、自閉症の方がどういう感じ方で日常を送っておられるのか、社会集団の中で何に苦勞されているのか、私との感じ方の違いなど、具体的に生の声を初めて聞く事ができました。今後の障がい者支援に大変勉強になりました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

＜早春の石川に学ぶ＞

佐賀支部 入井淑圓

春 3 月、石川支部のご尽力で開催された実践研究大会 in 石川は、心和む発見の旅となりました。3/2 大会初日、「地域の仲間とつくる地域のサポート」という心温まる実践報告が行われ、コメンテーターの諏訪先生より、新しい TEACCH の概念を改めてご紹介いただきました。「教える…」「広める…」「感謝する…」「協働と協力…」「全体像を捉える…」…謙虚さや感謝のニュアンスがいっぱい込められている TEACCH Core Values の再発見です…(詳細は TEACCH の HP を参照下さい。)



続くニキ・リンコさんによる講演会では、例えば、お稽古事などの機会を捉え、年下の人…しかも好みでは無い人の言うことを聞く練習を計画的に始め、だんだん慣れることの必要性などが説かれました。なるほど…同世代としては、身に沁みるコメントです。

大会二日目 3/3、分科会③成人期に参加しました。佐賀支部会員の相良さんと丸尾さんが、タイプが全く異なる2事例を報告され、心揺さぶる話題提供になったように感じました。コメンテーターの内山先生より、温かく的確なご助言をいただき、支援継続に向けた道筋の再発見がなされたものと思います。

会員の多様な視点(背景)を一部共有する機会を得て、伝えたいように伝えあう、つながることの難しさや大切さを改めて考えました。背景やニーズ、力量などの異なる個々人が、柔軟にフレームを変えながらつながっていくには、どう考え、どう行動するか…。バトンの色やデザイン、サイズなどが違っていても、誰もがバトンをつなぐ役割を担っている…

そういえば、実践研究大会からちょうど一ヶ月経った 4/2 世界自閉症啓発デーには、さまざまなブルーのバトンが美しくつながり、心躍りましたね。佐賀でも、強風の中、いろいろな仲間がブルーウォークを行い、とても良い時間を過ごすことができました。

ちなみに…ブルーといえば、心尽しに魅了された懇親会の夜を思い出しました。特設コーナーには、美しいブルーのボトルも並び、美味しくいただきました。図らずも、佐賀に戻ってすぐ、地元の〇屋デパートで初の石川県物産展が行われ、思わず足を運んだところ…あのボトルを発見！…もちろん迷わずお持ち帰りいたしました…。(…尾山神社のスタンドグラスのブルーも美しかった)

…徒然なるままに書き綴ってまいりましたが、TEACCH プログラム研究会の実践研が今後もより良い学びあいの機会となることを祈念しつつ、筆をおくことといたします。

ご尽力いただいたみなさま、本当にどうもありがとうございました。

<実践研究大会に参加して>

大阪支部 森田 隆

2013年3月2日(土)・3日(日)に、第11回 TEACCH プログラム研究会『実践研究大会 in 石川 2013』に参加しました。今回の大会テーマは、『つながる』～粹をこえ、伝え合い、分かち合い、さらなる連携～でした。

1 日目は、実践報告：「一人ひとりの笑顔のために～地域の仲間とつくる地域のサポート～」、藤田実千代先生(石川県立特別支援学校輪島分校)と公開講座講演：「検索 自閉っ子」、ニキ・リンコさんの講演がありました。

藤田実千代さんのお話で印象に残ったことは、『出会った人が笑顔になる』教育(支援)を目指して取り組んでいることです。藤田さんの話を聞いて、思わず私は、「私と出会った知的障がい者は、笑顔になったのでしょうか？」と自分に問いかけました。

また、平成 25 年 4 月 1 日施行の障害者総合支援法の基本理念である『その人が、その人らしく、その地域で生きていく』、丁寧な実践を大切にされていると感じました。課題として、地域社会に障がい者の方のたまり場がなかった。よって、地域の人とたまり場ワークショップを立ち上げ、今では、『たまり場 NPO 法人夢かぼちゃ』があるそうです。何気なく集まれる場所は、自閉症者だけでなく全ての人に必要です。居場所確保の地道な取り組みに感動しました。

次に、ニキさんの講演を聞いて印象に残ったことを書かせて頂きます。最初に、司会者の方が、「ニキさんは拍手の音が苦手なので、手をひらひらさせてニキさんをお迎えしてください。」と言われました。するとニキさんが、以前は拍手が苦手であったが、今は大丈夫です。自閉症も日々変化します。今回のように配慮がいらなくなることもありますと…

自然現象は、自閉症の方に配慮してくれなません。しかし、私たちの障がいを理解してくれる支援者は配慮してくれます。でも、実用的なテクニックはすぐには見つかりません。長年かけて慣れる努力が必要です。また、当事者の自己申告は当てにならない。「助けを求めないことは褒められること」だと子どもの頃信じていた。つまり、人にいろいろ聞かないで自分の中で生活していると、大人たちから手のかからない良い子だと思っていた。大げさに文句を言う人もいる。手のかかる人と思われ、嫌がられると思っていた。これは、お互い役に立たない。

好き嫌いは大人が教えてくれるものだとずっと思っていた。「冷たい」「熱い」「痛い」「しびれる」等の感覚も大人が教えてくれるものだと信じていた。子どもの頃、大人が私の手を触って教えてくれた。「冷たいね」

「熱いね」と言って教えてくれた。自分では、「冷たい」「熱い」は分からなかった。よって、お腹が痛い時、大人の手を取って引っ張り、自分のお腹に手を当てる。クレーンする。大人は「引っ張らないで」と言う。手をお腹に当てることでお腹が痛いと思っていた。足がしびれた時、大人に足を引っ付けると伝わると思っていたが、実際は伝わらなかった。

ペット専用住宅はコンセントの位置が高いので便利である。ニキさん、立ったり座ったりすると次に何をしようとしていたか忘れてしまう。砂糖をこぼす。掃除機を出してしゃがんでコンセントをさすと、掃除をすることを忘れてしまう。本当のことです。

疲れている時に、趣味に熱中してしまう。止める能力が下がる。好きなことをして疲れる。自覚しにくい。意志力が下るので好きなことを止めることが出来ない。

「努力」「つらい」「苦しい」「楽しい」ことが感覚として分からない。映画の題名「男はつらいよ」から、女はつらいと思っていた。精神的につかれるという概念がなかった。肉体労働でつかれることは知っていた。抽象的なことが分からない。努力は疲れることと信じていた。楽しい努力は努力でないと信じていた。

聞いて覚えることは得意であったが、それはいけないことだと思っていた。書いて覚えることが良いと信じていた(学校の先生が書いて覚えなさいといつも言っていたから)。英語の先生が英語を聞きなさいと言われ、英語は聞いて覚えて良いのだと思って、ずっと英語を聞いていた。よって、今は英語翻訳者として働いている。先生が言ったからやったのである。律儀である。NHK の続英会話のラジオをずっと聞いていた。学生時代、耳から学ぶことはいけないことと思っていた。つらいことを繰り返して行うことが努力と信じていた。楽しいことが支えになるということが仕事をして初めて分かった。生活のためにだけでは、仕事を頑張れない。お金がなければ食べるものを我慢すれば良い。遊びたい、遊ぶお金が欲しいと思った時に、仕事が頑張れる。ケチになると頑張りがきかなくなる。欲求が色々あるから頑張れるのである。そのことは仕事をするようになって初めて分かった。

楽しいことがするために努力をする。趣味、道楽は意欲を育てる。楽しいことをするための努力は努力でないと若い時は考えていた。

趣味は2~3持っておくべきです。広げる必要もあります。大人になってから趣味を見つけるのは難しい。使う感覚はいろんなものが良い。年を取ると使う感覚は狭まる。また、時間もできる。自由時間の使い方が苦手な方が多い。趣味のタイプを広げることが重要です。

自閉症の人も年を取る。年下の意見を聞くことに慣れていない。練習が必要です。今から年下の人を先生として学ぶ経験をしていますと話されていました。

現在、趣味のおかげで新しいことに挑戦できるようになったそうです。発達障がいの方も我々と同じく、自分の好きなこと、得意なことがその人の生きる原動力になっているのです。

自閉症の方は本当に生きにくいということを再度教えて頂きました。当事者のお話は、我々支援を展開していく者にとって貴重な財産です。ニキさん、ありがとうございました。

2 日目は、4つの分科会があり、私は発表もあったので、幼児期~成人期の分科会に参加しました。内容は、「僕の歴史」、柿木晴美さん(保護者)と「強度行動障がいを示す方の地域生活移行の可能性をさぐる」と森田隆(大阪府立砂川厚生福祉センター)でした。

「僕の歴史」は、知的障がいを伴う自閉症のお母さんの話でした。現在 20 歳の息子で、今まで生きてきて色々な事件に遭遇しました。その事件をきっかけに息子とお母さんと家族が成長したことを話して頂きました。つまり、「事件」⇒「客観視して息子と向かい合う」⇒「自閉症・息子の特性を知るきっかけとなって

いる」、息子を理解することで良い関係が生まれ、周りの人にも息子の特徴を伝え、的確な支援の協力をお願いできる。よって、息子がのびのびと成長する。

3歳、変だと気付く。危険認識がない。その時、お母さんが言ったことは「みんなと違っていいじゃない！それではみ出してしまうなら、思いっきり素敵にはみ出そうよ！」すばらしいじゃないですか。そう言ってもらえることで息子はどんなに幸せだったのでしょうか。頑張れお母さんとエールを送ります。特に「素敵にはみ出そうよ」が良いですね。

小2、登校拒否になる。「息子の障がいのことをよく知らない。息子のことを障がいの説明も含めて、私の言葉で話せるようにならないといけない」このことがきっかけになり、息子のことを客観的に理解し、周りの人に分かるように伝えることができるようになったのだと思います。

以上が、実践研究大会を受講しての報告です。大会運営者及び発題者の方、ご苦労様でした。TEACCHらしい大会だったと思います。

さて、2年後、この実践研究会は大阪で開催されますので、ご期待下さい！

＜平成25年度第1回理事会報告書＞

平成25年度第1回理事会は、3月1日(金)18:00-21:15 石川県文教会館においておこなわれました。この理事会での決定事項および継続審議事項についてお知らせいたします。

参加理事：内山、村松、宇山、諏訪、中村、黒田、中井、笠合、小川、藤井、丸田、森田、西村、内田、入井、三ヶ田、岡本、井上、濱田(前会計)、五味

議案1. 平成25年度理事および役割の確認

議案2. 平成24年度活動報告

議案3. 平成24年度会計報告、特別会計報告

議案4. トレーニングセミナー2012 in 鳥取 について報告 森田理事より報告

議案5. 支部助成金事業について

議案6. 平成24年度各支部事業報告

議案7. 平成25年度活動予定

議案8. コラボレーションセミナー2014 in 京都 について

平成26年2月15日(土)～16日(日) 京都 シルクホールで開催。

講師：マリー・バーガンディ氏

テーマ：「セクシャリティ sexuality」(仮題)

テーマに沿った実践報告(4事例)を募集します。応募は支部推薦によること。

5月末まで応募ください。

- ・ 参加費について検討の結果、会員 4,000円、一般 10,000円、新入会員 9,000円(参加費 4,000円＋入会金・年会費 5,000円)とする。
- ・ 会員の参加費を、これまでよりも安く設定することで、TEACCH研への新入会を促す。参加者数の動向を見て、状況によっては、今後会員の参加費をさらに安くして(3,000円等)会員の皆さんへの還元を検討する。
- ・ 新入会員の参加費の納入方法は、コラボレーションセミナー担当理事で検討し次回の理事会で提案する。

議案9. 第12回実践研究大会について

2015年(平成27年)大阪支部が開催 基調講演「脳機能再前線」

大阪支部の井上理事より開催地としての立候補があり、理事会にて承認された。

議案10. 平成 25 年度予算(案)

議案11. ぷらう48号(2013年春号)について:

記事の分担と発行のスケジュールについて岡本理事より提案され、確認された。

議案12. 平成 25 年度総会議案

議案13. その他

1)土倉事務所より H25年度より、会費の納入が、コンビニでの振り込みも可能になる予定。

2)JDD ネット入会について

平成 25 年度中に、TEACCH プラグラム研究会として入会の予定

3)事務局の変更に關して

これまでの事務局を務めてくださった大阪支部の井上理事に代わって、神奈川支部の五味が平成 25 年度～27 年度事務局を担当する。

この変更に伴い、事務局についての以下文書の記載を変更する。

① 会則

② リーフレット

③ ホームページ

4)事務局担当の順番が確認された。次の事務局は平成 28 年～30 年熊本支部。

5)平成 25 年度第2回理事会の開催日程:

平成25年7月7日(日)13:30-17:00、メルパルク京都にて開催することに決定。

<平成25年度総会報告>

平成25年度の総会は、平成25年3月2日(土)16:45より、石川県文教会館ホールにおいて行われました。

総会では、新理事・役員、および以下の6議案について会員の皆様の承認をいただきました。

* 平成25年度理事及び役割(☆ … 新理事)

支部	役割	理事氏名
常任	会長・講師招聘事業	内山 登紀夫
常任	副会長・講師招聘事業	村松 陽子
常任	副会長・HP 研修(トレセミ、実践研)	宇山 秀一
常任	研修(トレセミ、実践研)	諏訪 利明
北海道		中村 明美
東京		黒田 美保
神奈川	☆事務局	五味 純子
山梨		中井 百合子
石川		笠合 竜明
愛知		小川 真紀
滋賀		☆三谷 由紀子
京都	講師招聘事業	丸田 富美代
大阪		井上 芳子
鳥取		森田 礼子

香川		西村 健一
福岡		内田 博昭
佐賀		入井 淑圓
大分		三ヶ田 智弘
熊本	広報	岡本 美由紀

監事 水野 敦之 氏(佐賀) 木崎 伸子 氏(石川)

議案1 平成24年度活動報告

2月17日(金) 平成24年度第1回理事会(京都)
 2月18日(土)～19日(日) コラボレーションセミナー2012(京都)
 2月18日(土) 平成24年度総会
 機関誌『ぷらう』46号(春)発行
 6月24日(日)平成24年度第2回理事会(京都)
 7月27日(金)～29日(日) トレーニングセミナー in
 鳥取
 機関誌『ぷらう』47号(秋)発行

議案2 支部助成金事業について

☆平成23年夏の総務委員会で、特別会計の
 使途の1つとして希望支部より地域普及活動や講演会開
 催などの有効活用企

画を募集し、理事会もしくは総務委員会検討
 の上選考された支部に 30 万円を上限として使っていた
 だく支部助成金事業

を2年間試行実施することになった。

- 1) 平成24年度申請支部： 8支部
 支出合計1695, 663円
 (北海道、東京、神奈川、山梨、石川、
 大分、佐賀、熊本)
- 2) 平成25年度前期申請支部： 4支部
 (京都、滋賀、佐賀、熊本)
- 3) 平成25年度後期申請： 平成25年6
 月末まで募集

議案3 平成24年度会計報告

参照：平成24年度会計報告
 平成24年度特別会計積立金
 会計報告

議案4 平成25年度活動計画

3月 1日(金) 平成25年度第 1 回理事会(金沢)
 3月 2日(土)～3日(日) 第11回実践研究大会 in
 石川(金沢)
 3月 2日(土) 平成25年度総会

平成24年度 TEACCHプログラム研究会 会計報告	
*会計年度 平成24年1月1日～平成24年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥3,265,742
会費	¥3,732,000
第三回講師招聘事業運営費返金	¥861,455
利息	¥674
合計	¥7,859,871
<支出>	
名簿及び会費管理費 (4400 + 2,277 + ¥100 × 298名)	¥970,400
理事会交通費(2回分)	¥766,370
理事会会議費(2回分)	¥84,481
トレーニングセミナー運営費(鳥取)	¥338,174
実践研究大会運営費(石川)	¥500,000
通信費	¥230,733
HP管理費	¥9,600
支払手数料(振込手数料)	¥2,310
雑費(事務局用品、コピー代)	¥25,834
特別会計積立金	¥2,000,000
合計	¥4,927,902
<収支>	
収入¥7,859,871－支出¥4,927,902＝¥2,931,969	
残金¥2,931,969は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成25年2月20日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 清田 美波
平成25年2月27日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野 敦之 木崎 伸子

平成24年度 TEACCHプログラム研究会 特別会計積立金 会計報告	
*会計年度 平成24年1月1日～平成24年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥8,011,983
一般会計より	¥2,000,000
一般会計より(実践研究会運営費立替分)	¥500,000
支部別助成金返金	¥40,855
利息	¥1,128
合計	¥10,553,794
<支出>	
支部別助成金(9支部)	¥1,695,663
トレーニングセミナーグッズ購入費	¥66,756
実践研究会運営費立替分	¥500,000
支払手数料	¥4,200
合計	¥2,266,619
<収支>	
収入¥10,553,794－支出¥2,266,619＝¥8,287,175	
残金¥8,287,175は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成25年2月20日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 清田 美波
平成25年2月27日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野 敦之 木崎 伸子

機関誌『ぷらう』48号(春)発行
 7月 7日(日) 平成25年度第2回理事会
 機関誌『ぷらう』49号(秋)発行

* 上記以外、必要に応じて総務委員会を開催する。

議案5 平成25年度予算案

参照:平成25年度予算案

議案6 研究会会則変更について

参照:TEACCH プログラム研究会会則
 平成25年度改訂版
 事務局の交代に伴い、第4条を変更。

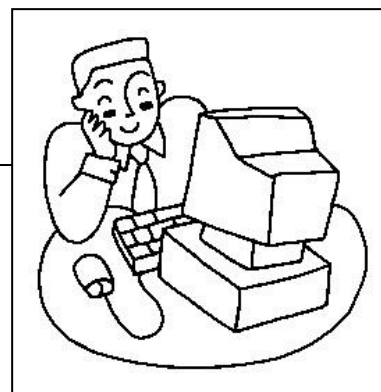
＜収入＞	
前年度繰越金	¥2,931,969
会費 (¥2,000×2,275名×0.8)	¥3,640,000
入会金(¥1,000×399名)	¥399,000
合計	¥6,970,969
＜支出＞	
名簿及び会費管理費 (¥450×2,441名+¥300×399名+¥700×30回)	¥1,239,150
通信費	¥250,000
理事会交通費・宿泊費(2回)	¥1,200,000
理事会会議費(2回)	¥100,000
総務委員会交通費(2回)	¥400,000
総務委員会会議費(2回)	¥30,000
トレーニング・セミナー運営費(大分)	¥500,000
ホームページ制作管理費	¥300,000
JDDネット入会金	¥30,000
JDDネット年会費	¥100,000
支払手数料	¥10,000
雑費(事務局専用PC購入・事務用品など)	¥230,000
特別会計積立金	¥1,000,000
予備費	¥1,581,819
合計	¥6,970,969

TEACCH研 HPIについて

6月1日より、新しいホームページにて運用していくことになりました。まだまだ手を入れていく必要がありますが、順次進めていく予定です。

各支部オリジナルのホームページもリンクに入れていきますので、ご覧ください。

パスワードは、 **yonaga**(前回と変更ありません) になります。



TEACCH コラボレーションセミナー 2014

隔年開催のコラボレーションセミナーが、来年2月に開催されます。コラボレーションセミナーは、ノースカロライナから講師をお招きして、TEACCH の実践についての最新情報をお話いただき、かつ日本の実践について意見交流するという充実したプログラムです。セミナーではテーマを絞り、他では聞けない一歩踏み込んだ内容になっています。

4回目の今回は、2010 年にも素晴らしいご講演をいただいたマリー・バーガディン先生を再びお招きし、自閉症スペクトラムの人たちの「性～セクシュアリティ～」について学びたいと思います。「性～セクシュアリティ～」についてと聞いて、どういことなんだろうと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが。性教育、異性との関係、結婚、生物学的な性の問題など、性にまつわる事からは幅広く、人間が生きていく上で欠かせないものです。バーガディン先生には、知的障害のある典型的な自閉症の人の性の問題から、より高機能の人の性や異性との関係について、幅広くお話をさせていただく予定です。バーガディン先生は、性の問題がまだあまり注目されていなかった頃から、性について研究と実践を重ねておられます。長年の経験や調査研究に基づいた貴重なお話を聴き、学びを深めるまたとない機会と確信します。また今回も日本の実践例を報告し、バーガディン先生と参加者のみなさんでディスカッションする予定です。

性の問題は、自閉症スペクトラムの人たちの支援を行う上で不可欠な要素となります。私たちはどのように捉えてどう支援すればいいのか、学びたいと思います。ぜひご予定いただき、たくさんの方に声をかけていただければと思います。

講師： **マリー・バーガディン氏**

(ノースカロライナ大学教授・チャペルヒル TEACCH センター所長)

日程： **2014年2月15日(土)／16日(日)**

会場： **京都シルクホール** (京都市営地下鉄烏丸線四条駅、阪急烏丸駅 下車すぐ)

参加費： **会員 4,000 円 一般 10,000 円**

※ 会員の参加費を前回より値下げしました。新入会の方は、入会金 1000 円、年会費4000 円、会員参加費 4000 円をあわせた 9000 円になります。

プログラム

■1日目 講演『性～セクシュアリティ～について』(仮題)

■2日目 実践報告とディスカッション

性にまつわる問題について TEACCH 研の会員から日本の実践を報告し、バーガディン先生と情報や意見の交換を行います。

詳細は、秋に配布するチラシまたはホームページをご覧ください。申し込み方法もその際にお知らせいたします。お見逃しなく!

各支部活動計画

<北海道支部>

1. 会議(支部関係)

場所:北海道発達障害者支援センターあおいそら/北海道教育大学附属特別支援学校

件名	日時	内容
平成25年度 北海道支部総会	1.15	平成24年度事業報告 決算報告 監査報告 平成25年度事業計画(案) 予算(案)他
第1回運営委員会	2.19	企画研修会について
第2回運営委員会	4.9	企画研修会について
第3回運営委員会	5.21	企画研修会について
第4回運営委員会	7.2	企画研修会について
第5回運営委員会	8.20	企画研修会について・来年度計画について
第6回運営委員会	10.12	来年度計画について・平成26年度総会について
第7回運営委員会	11.12	来年度計画について・平成26年度総会について

※平成26年度支部総会は、H26.1.14(火)北海道教育大学附属特別支援学校にて開催予定

2. 会議(本部関係)

件名	日時	内容	場所
第1回本部理事会	3.1	平成25年度本部事業及び本部運営について 総会議案について	金沢市文教会館
平成25年度 本部総会	3.2	平成24年度本部事業報告、決算報告、監査報告 平成25年度本部事業計画(案)、予算(案)他	金沢市文教会館
第2回本部理事会	未定	未定	未定

3. 勉強会・研修会

件名	日時	内容	講師
第1回	1.15(火)	はこだて療育・自立支援センター事業紹介 ～開所から1年を迎えて～(予定)	はこだて療育・自立支援センター 須佐 史信 氏

第2回	5.11(火) ~5.12(日)	志賀利一氏講演会 ※オープン参加 「知的障害の高齢化・強度行動障害への支援 (予定)」	国立のぞみ学園 志賀 利一 氏
第3回	6.15(土)	金沢京子氏講演会 ※オープン参加 「幼児期の支援(予定)」	つくしんぼ学級 金沢 京子 氏
第4回	7月	寺尾孝士氏講演会 ※オープン参加 「自閉症の理解と支援(予定)」	川崎医療福祉大学 寺尾 孝士 氏
第5回	8月	中野伊知郎氏講演会 ※オープン参加 「成人期の支援(予定)」	星が丘寮 中野 伊知郎 氏
第6回	未定	講演会(於札幌・共催)	未定
第7回	10.6(日)	北海道キャラバン北見市講演会 「TEACCH の歴史と理念・構造化された支援 (予定)」	北海道支部運営委員
第8回	10.22(火)	会員限定学習会 「自閉症の医学 2013(予定)」	北海道支部運営委員
第9回	11.16(土)	実践報告会 ※オープン参加	未定

4. 会報発行

件名	発行時期	内容
第1報	3月上旬	平成25年度総会報告、学習会案内 他
第2報	4月	ぷらう(本部会報)
第3報	5月下旬	学習会報告、学習会案内 他
第4報	7月下旬	学習会報告、学習会案内 他
第5報	9月上旬	学習会報告、学習会案内 他
第6報	10月	ぷらう(本部会報)
第7報	11月下旬	学習会報告、総会案内 他

< 石川支部 >

- ・ 1月13日(日) 第11回 総会
ミニ講演会 笠合竜明さん
(金沢手をつなぐ親の会知的障害児対象児童クラブ「すずかけクラブ」主任)
支援グッズ持ち寄り新年記念パーティー
場所 金沢市教育プラザ富樫1号館123号室
- ・ 1月13日(日)12:00~14:00「2013実践研究大会 in 金沢」第6回実行委員会
場所 金沢市教育プラザ富樫1号館123号室
- ・ 2月9日(土)18:00~ 「2013実践研究大会 in 金沢」第7回実行委員会

場所 金沢市教育プラザ富樫

- ・ 3月1日(金)TEACCH プログラム研究会理事会
- ・ 3月2日(土)～3日(日)第11回 TEACCH プログラム研究会実践研究大会 IN 石川
場所 石川県文教会館(金沢市尾山町10-5)
*2日(土)14:30～16:30 ニキ・リンコさん講演会
「検索！自閉っ子」
講演のみ参加可
会費:会員1000円、会員以外2000円
- ・ 5月19日(日)9:30～12:30 第57回例会
「児童発達支援センターにおける子育て支援と保護者支援」
こども発達支援センター・富山市恵光学園 橋本伸子さん
場所 金沢市教育プラザ富樫
- ・ 6月16日(日)9:30～12:30 第58回例会
のぞみ小児科からの報告 OT 高橋佐代子さん、ST 太田朗子さん
場所 金沢市教育プラザ富樫予定
- ・ 7月28日(日)9:30～12:30 第59回例会
「僕の歴史」保護者 柿木晴美さん
場所 金沢市教育プラザ富樫予定
- ・ 9月未定(日) 9:30～12:30 第60回例会
事例検討会
場所 金沢市教育プラザ富樫予定
- ・ 11月未定 講演会「学校時代に学ぶべきこと～生活の基礎を身につける～(仮題)」
講師 子どもの発達応援団たすく代表 斉藤宇開さん(交渉中)
たすくは、発達障がいのある人への一貫性と継続性のある支援体制を築くために立ち上げたグループ。この目標に向かった事業の柱として、インターネットを使った SNS (Social Networking Service)を行っている。
<http://sns.tasuc.com/>
場所 金沢市教育プラザ富樫予定

2014年1月未定 第12回 総会 講演会 予定(講師未定)

<東京支部>

	日程		講師・発表者	テーマ
1	3/20(水)祝 10:00～16:00 オリンピックセンター	定期総会 講演会	井上雅彦	「応用行動分析 概論」 「ペアレントトレーニング」
2	4/21(日) 10:00～16:30 四谷ニコラ・パレ	基礎講座1	諏訪利明	「TEACCH 概要」 「自閉症の学習スタイル」 「構造化」
3	6/8(土) 10:00～16:30	基礎講座2	黒田美保 安倍陽子	「フォーマルアセスメント」 「インフォーマルアセスメント」

	本郷教会レイホール			
4	7/14(日)~7/15 (月) 9:30~17:00 品川きゅりあん	2Day ワークシ ョップ	黒田美保 澤 月子	「自立課題(ワークシステム)」
5	10/6(日) 13:00~16:30 未定	基礎講座3	五味純子	「コミュニケーションについて」
6	10/26(土) 10:00~16:30 未定	講演会	梅永雄二	「TTAP~インフォーマルな評価~」
7	11/10(日) 10:00~16:30 未定	事例検討会	森田 隆	事例発表&持ち寄り事例検討会
8	12/8(日) 10:00~16:30 未定	講演会	萩原 拓	「未定」

・ 会場、時間は、都合により変更することもあります。受講者の方には別途ご案内いたします。

お申込み

メール、または FAX にて【必要事項】をご記入の上、下記事務局までお申し込みください。講演会・基礎講座につきましては仮受付のうえ、参加費振込確認後の受付となります。勉強会・事例検討会等は当日受付でお支払いください。

【必要事項】: 氏名・会員/非会員の別・メールアドレス・連絡可能な電話番号・保護者/専門職/学生の別

(専門職の方は勤務先と職種、学生は学校名と専攻を明記)

講演会・基礎講座 : TEACCH プログラム研究会東京支部会員 → 半日 1,000 円、一日 1500 円
一般 → 半日 3,000 円、一日 5000 円

勉強会・事例検討会: TEACCH プログラム研究会東京支部会員 → 100 円
一般 → 500 円

※2day ワークショップは別料金になります(原則として会員のみ)詳細は、決まり次第 web にて公開致します。

FAX 050-3488-5766
Mail teacchtokyo@gmail.com

< 神奈川支部 >

日時	内容	ご案内
3月2日~3日	第11回 TEACCH プログラム研究会 実践研究大会 in 石川 2013	石川県文教会館
4月26日(金) 19:00~20:30	◆TEACCH プログラム研究会神奈川支部 総会 【報告】「ノースカロライナ最新見聞録」 講師 諏訪 利明	おださがプラザ 多目的ホール
5月23日(木) 19:00~20:30	【講義】「自閉症の診断をめぐって~CARS II・DSM Vレポート」 講師 諏訪 利明	おださがプラザ 多目的ホール

6月20日(木) 19:00~20:30	【実習】「CARS:スコアリングの実際」 講師 諏訪 利明	おださがプラザ 多目的ホール
7月11日(木) 19:00~20:30	【講義】「構造化:Structured TEACCHing(仮題)」 講師 諏訪 利明	おださがプラザ 多目的ホール
9月5日(木) 19:00~20:30	【実践報告】 「重度自閉症の方への構造化のアイデアを取り入れた支援」 発表者 古鍛冶 功一氏(三浦しらとり園)	おださがプラザ 多目的ホール
10月13日(日) ~14日(月)	【2DAYS トレーニングセミナー(予定)】	未定
11月14日(木) 19:00~20:30	【講演会】「自閉症療育のこれまでとこれから(仮題)」 講師 幸田 栄氏(川崎西部地域療育センター)	おださがプラザ 多目的ホール
12月8日(日) 時間未定	【講演会】 「遺伝なの? どうなの? 自閉症の話 —医療の立場から—(仮題)」 講師 高橋和俊 氏(おしま地域療育センター所長)	「ユニコムプラザ さがみはら」 bono 相模大野 サウスモール 3階

※日程及び内容はあくまでも予定ですので、変更になる場合があります。

※基本の勉強会については、**参加費 会員 200 円、非会員 1,000 円**です。2DAYトレセミ、講演会等については詳細が決まり次第お知らせいたします。

※なお、19:00~開始となりますが、18:00~会場設営を行います。お手伝いいただいた方には参加費無料券を配布いたしますので、ご協力お願いいたします。

おださがプラザ:相模原市南区南台3-20-1

小田急相模原駅北口 ラクアルおださが4階

TEACCH プログラム研究会 神奈川支部事務局
〒242-0022 神奈川県大和市柳橋 5-2-7 県央療育センター内 宇山
【TEL】 080-3250-2115 【FAX】 046-269-0067
【e-mail】 teacchkanagawa@yahoo.co.jp

◆TEACCH プログラム研究会ブログ(日程変更・活動報告等の最新情報はブログでご確認ください)
<http://teacch-kanagawa.blogspot.jp/>



＜山梨支部＞

今年も発達障害や TEACCH について基礎的な知識の習得に努めるとともに、現任職員の方々に県外の研修に参加する機会を提供し、他県の実情を知ったり横の繋がりをつくったりすることで、より広い視野をもって支援に当たれるようにしたい。

昨年試行したミニ勉強会は、開催方法や内容を検討しながら、今年度も実施していきたい。

【運営会議】

件名	日時	内容
第 1 回運営委員会	1/16(水)	・今年度活動計画について ・活動の周知について ・総会準備
総会	2/2(土)	総会
第 2 回運営委員会	4 月 26 日	
第 3 回運営委員会	6 月	
第 4 回運営委員会	9 月	講演会準備
第 5 回運営委員会	12 月	総会準備

【勉強会・研修会】

件名	日時	内容
第 1 回 講演会	5 月 12 日(日)	・諏訪利明先生 (TEACCH 基礎講座Ⅵ)
トレセミ派遣(2名)	8 月、3 月	神奈川トレセミ・川崎医療福祉大
視察研修	3/2~3/3	石川 実践研
第 2 回 講演会	10 月	・加藤 潔先生(TEACCH 基礎講座Ⅶ)
県内施設見学	未定	(自主勉強会と合同開催を予定)
自主勉強会	3/16(月) 以降月 1 回程度の頻度で開催予定	ケーススタディによる会員相互の勉強会

＜愛知支部＞

月	日	支部主催の事業・内容・講師	会報の発行	総会、世話人会など
1月			会報発行	
2月	11 日 (月)	講演会「その人らしい就労をめざして」 講師:中山清司氏		11日総会・世話人会
3月				
4月	20 日 (土)	フォローアップ研修「自立課題」		20日世話人会

5月				25日世話人会
6月				
7月	13日 (土)	定例会	会報発行	13日世話人会
8月				
9月	15日 (日)	定例会&食事会		
10月	未定	フォローアップ研修「自立課題」		
11月	未定	実践報告会 助言者:岡田眞子氏		
12月	22日 (日)	講演会「基礎から学ぶTEACCHプログラム」 講師:諏訪利明氏		

＜滋賀支部＞

I.講演会【自閉症スペクトラムの支援の原則～構造化を中心に～】

- ◇日時:4月20日(土) 午後1時30分～4時30分
- ◇講師:よこはま発達クリニック 内山登紀夫先生
- ◇場所: G-NETしが(男女共同参画センター)《地図参照》
- ◇参加費:会員無料、会員外500円

★この日は午後4時30分より、滋賀支部年次総会を開催します。

II.例会【冰山モデルから行動を理解する～事例報告と検討会】

昨年度に引き続き、「冰山モデルから行動を理解する」をテーマに、冰山モデルをもとにした「実践報告会」と「事例検討会」を交互に行います。

最初に実践報告を通して具体的な取組みをイメージし、次の回には事例検討の形で「困った行動」の水面下を掘り下げ、どのような取組みが出来るのかを共に考えるという形です。例会を通して、自閉症の人たちの行動を理解し、取組みを考えていく力を磨きましょう。

- ① 5月24日(金)実践報告「高等部の実践」三雲養護学校 峯規子氏
- ② 6月28日(金)事例検討会「学齢期ケース」
- ③ 7月24日(水)実践報告「小学部・低学年の実践」野洲養護学校 安田順子氏
- ④ 9月27日(金)事例検討会「幼児期ケース」
- ⑤10月23日(水)実践報告「成人期・噛む行動が見られたAさんのその後」
ワークパートナーきらら 小野塚清子氏

⑥11月22日(金)事例検討会「成人期ケース」

◇時間:午後7時～8時50分◇場所:コミセンやす

※裏口(鉄扉)からお入りください。

◇参加費:会員無料、会員外は1回500円◇申し込み:不要、単発参加も可能

★例会日時の変更、台風などによる中止のお知らせは、TEACCH 研滋賀支部ブログ
(<http://blog.goo.ne.jp/teacchshiga>)にてお知らせします。

＜京都支部＞

2013年度の講演会及び、例会の日程は下記のようにしております。

どうぞ、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時	講師 (話題提供者)	所属	タイトル・内容
1/19(日) 14:00 ~ 16:30 ハートピア 京都 大会 議室	村松 陽子 氏	京都市発達障 害者支援セン ターかがやき 京都市児童福 祉センター	「自閉症の人たちの余暇を考える」 自閉症の人たちの中には、自由な時間を上手く過 ごせず、そのことが放課後や休日の生活の中で、不 適切な行動となってあらわれているのではないかと 思われることがあります。また余暇活動が充実して いることは、豊かな生活を送ることもつながりま す。障害特性を踏まえながら、余暇をどう考え、どう 過ごせばよいかについて皆さんと一緒に考えたいと 思います。
3/16(土) 13:30 ~ 16:30 京 都 社 会 福 祉 会 館	木村まき子 氏 川辺孝子 氏 和田由起子氏	京都府立 向日が丘支援 学校 小学部	「小学部の低学年に大切にしていること」 小学部の子ども達は初めての学校生活で、見通し が持てず不安で過ごしていることが多いことと思 います。そのような中で、見通しが持てるための環境 作りや楽しいと思える学習・大人との関係づくりが大 切です。小学部のクラス実践の様子から低学年で 大切にしていることを考えてみたいと思います。
5/18(土) 13:30 ~ 16:30 京 都 社 会 福 祉 会 館	寺島 昌洋 氏	社会福祉法人 あらぐさ福 祉 会	「ケアホームいそどり」の取り組みから 社会福祉法人あらぐさ福祉会は2012年7月にケア ホームいそどりを開所しました。施設内だけではなく 生活空間で自閉症の人たちを支援している中で 様々なできごとがありました。その中からいくつかの エピソードを報告させていただきます。
7/13(土) 13:30 ~ 16:30 京 都 社 会 福 祉 会 館	澤 月子 氏	京都市発達障 害者支援セン ターかがやき	「触法ケースの取り組み」 ～TEACCH の理念と地域生活支援～ 関係機関との連携を取りながら、TEACCH の理念の 基本に従って、取り組んだ事例の紹介です。全国的 に見ても、聞く機会が少ない取り組みだと思いま す。
9/21(土) 13:30 ~ 16:30 京 都 社 会 福 祉 会 館	大東 氏	京都府立 八幡支援学校	「八幡支援学校 4 年目の自立活動」 小学部の低学年の児童が学校の流れや環境を理 解して、早く落ち着いて過ごせるようにどのような支 援をしていけばいいのか、子ども理解、支援の手だ て、環境の配慮を主な視点として実践してきたこと を報告します。
11/ 2 3 (土) 13:30 ~ 16:30 京 都 社 会 福 祉 会 館	丸田 富美代 氏	社会福祉法人 南山城学園 障害者支援施 設 翼	「強度行動障害と呼ばれていた方のその後」 強度行動障害特別処遇事業として入所されたおひ とりへの支援を通して その方の変化と支援者とし て感じていることなどをお話させていただきます。

※ 例会の開催場所は、昨年と同様、京都社会福社会館です。

(〒602-8143 京都市上京区堀川通り丸太町下る(二条城北側)TEL 075-801-6301)

< 大阪支部 >

月日 (曜日) 時間	支部主催の事業・内容・講師	会場	会報の発行	総会など
2月		堺市民会館		運営委員会
4月			年間講座予定表郵送	
5月19日 14:00 (日) ~ 16:30	月例会 「自閉症の理解と TEACCHプログラム」	堺市民会館 大集会室	いまあじゆ 発行	例会終了 後、総会 運営委員 会
6月30日 14:00 (日) ~ 16:30	特別講座 「TEACCH最前線」 講師 諏訪 利明 氏 (川崎医療福祉大学 准教授)	堺市民会館 大集会室		
7月20日 14:00 (土) ~ 16:30	特別講座 「構造化の理念と実際」 講師 重松 孝治 氏 (川崎医療福祉大学 特任講師)	堺市民会館 大集会室		運営委員 会
9月21日 14:00 (土) ~ 16:30	月例会 ワークショップ 「課題分析をしよう」	堺市民会館 大集会室		運営委員 会
10月26日 14:00 (土) ~ 16:30	公開講座 「本当のTEACCH」 講師 内山 登紀夫 氏 (福島大学 教授)	堺市民会館 大集会室	いまあじゆ 発行予定	
11月16日 14:00 (土) ~ 16:30	公開講座 「自閉症研究の最前線」 講師 永井 利三郎 氏 (大阪大学 教授)	堺市民会館 大集会室		運営委員 会
12月7日 14:00 (土) ~ 16:30	特別講座 「問題行動のとらえ方～成人期 重度障害の人への対応～」 講師 重松 孝治 氏 (川崎医療福祉大学 特任講師)	堺市民会館 大集会室		運営委員 会

★参加費 研究会会員 無料 会員の家族 無料 学生(学生証提示で) 無料
非会員 1000円

＜鳥取支部＞

月 日	時 間	支部主催の事業・内容・講師	共催、後援事業・ 内容
1月24日(木)	19:00~20:30	佐々木正美先生 DVD 視聴 ①	
2月			
3月28日(木)	19:00~20:30	佐々木正美先生 DVD 視聴 ②	
4月		総会 鳥取トレセミ報告会	
5月			
6月		汐田まどか先生を招いて	
7月			
8月22日(木)	19:00~20:30	ソーシャルワーカー 遠藤さんを招いて	
9月			
10月		成人施設での支援実践について	
11月			
12月26日(木)	19:00~20:30	反省会・忘年会	

定例会：毎月第4木曜日場所 境港市児童発達相談センター 陽なた ※6月と10月の日時と場所は未定です。

研修会：PARS、WISCIV等の研修会→日程調整中



＜香川支部＞

2013年度の講演会及び、例会の日程は下記のようにしております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時	テーマ	講師
2月10日	平成23年度新規会員総会 「お見せしましょう！親の心意気(笑)～30年間で試した、いろんなスモールステップな出来事について～」	丸岡 玲子 氏 (NPO法人ふぁみりいNOTE)
3月17日	報告；実践研究大会in石川	玉野伸江 氏、木村早智 氏 (香川県立高松養護学校)
4月14日	自閉症教育の最前線	坂井聡 氏 (香川大学教授)
5月19日	「実践発表1～特別支援学校での取り組み」	滝澤 健 氏 (香川大学教育学部附属特別支援学校)
6月16日	TEACCH プログラムについて I	西村健一 氏 (香川県立高松養護学校 小豆分室)
7月21日	TEACCH プログラムについて II	西村健一 氏 (香川県立高松養護学校 小豆分室)
9月15日	「実践発表2～特別支援学校での取り組み」	山内雅子 氏 (香川大学教育学部附属特別支援学校)
10月20日	「卒業後の豊かな生活のために小中高の各ライフステージで取り組んでおきたいこと～キャリア教育の視点より」	藤田明 氏 (香川県教育委員会)
11月17日	サービスを利用したイケてる生活設計	草原 比呂志 氏 (あじの里地域生活支援センター)
12月15日	座談会：「自閉症への支援Q&A～繪内Drを囲んで」	繪内 利啓 氏 (えないメンタルクリニック)

＜福岡支部＞

日時	活動内容	アドバイザー (すべて予定)	会場
2月12日 (火) 18:30～ 20:00	ODVD上映会 (自閉症の子どもの評価)	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
3月	ODVD上映会案内状送付		
4月9日 (火) 18:30～ 20:00	ODVD上映会(自閉症の子どもの評価) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付・ぷらう送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
5月18日 (土) 13:30～	○自閉症スペクトラム実践研修会 報告；実践研究大会 講座	井上哲雄氏	西南学院大学

16:00		(西南学院大学)	
6月11日 (火) 18:30 ~ 20:00	ODVD上映会(自閉症の子どもの評価) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
7月20日 (土) 13:30 ~ 16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告: 報告者:募集	納富恵子氏 (福岡教育大学)	西南学院大学
9月10日 (火) 18:30 ~ 20:00	ODVD上映会(未定) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状 送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
10月19日 (土) 13:30 ~ 16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告: 報告者:募集	緒方よしみ氏 (福岡市発達障がい者支 援センター)	西南学院大学
11月12日 (火) 18:30 ~ 20:00	ODVD上映会(未定) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状・ ぷらう送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
12月15日 (日) 13:30 ~ 16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 記念講演 講師:諏訪利明氏 (川崎医療福祉大学) ○平成25年度総会	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学

< 佐賀支部 >

月	日	時間	内 容	講 師	会 場	備 考
1月	26 (土)	9:30 ~ 11:30	定例学習会 行動の問題について	肥前精神医療センター 中山 政弘 氏	i スクエア 中・大会議室	支部総会
3月	23 (土)	9:30 ~ 11:30	定例学習会 事例検討会	藤影幼稚園 宮地 泰枝 氏	アバンセ 第2研修室	
4月	27 (土)	9:30 ~ 11:30	定例学習会 自閉症の特性について	オーティズム・リサーチ&コンサル タンシー 服巻 智子 氏	佐賀県 青年会館 大ホール	
5月	18 (土)	9:30 ~ 11:30	定例学習会 IEP について	うれしの特別支援学校 瀬尾 裕子 氏	アバンセ 第2研修室	
6月	8 (土)	9:30 ~ 11:30	定例学習会 構造化について①	オーティズム・リサーチ&コンサル タンシー 服巻 智子 氏	ほほえみ館 視聴覚室	
7月	13 (土)	9:30 ~ 11:30	公開講演会	元 TEACCH センター所長 ステイーブ 氏	メートプラザ 佐賀	

9月	未定	9:30～ 11:30	定例学習会 移行支援について	(未定)	(未定)	
10月	5 (土)	9:30～ 11:30	定例学習会 構造化について②	オーティズム・リサーチ&コンサル タンシー 服巻 智子 氏	(未定)	代表者会
11月	2 (土)	9:30～ 11:30	定例学習会 コミュニケーションについ て	オーティズム・リサーチ&コンサル タンシー 服巻 智子 氏	(未定)	
12月	7 (土)	9:30～ 11:30	公開講演会(予定) 社会性について	オーティズム・リサーチ&コンサル タンシー 服巻 智子 氏	(未定)	
12月 22日(日) 23日(月)		8:00～ 17:00	佐賀支部 トレーニングセミナー	今本 繁 氏 水野 敦之 氏	(未定)	

＜大分支部＞

1月27日(日)13～16時 総会＋復習勉強会他(大分大学附属特別支援学校)

2月 講演会はおやすみ

3月2日、3日(土、日) 実践研究大会 in 石川(金沢文教会館)

※申し込み用紙は昨年の秋にお配りした「ぷらう」と合わせてお送りしております。ご必要な方は事務局までお問い合わせください。なお、申し込みに関しましては各自で行ってください。

4月6日(土) 10～16時 映画鑑賞会「海洋天堂」＋講演会(ビーコンプラザ)

4月28日(日)10～16時 黒田美保先生講演会(大分県教育会館)

5月 講演会はおやすみ

6月23日(日)14～16時 橋口美代子先生講演会(ニューライフプラザ予定)

7、8、9月 講演会はおやすみ

10月20日(日) 14～16時 坪倉ひふみ先生講演会(ニューライフプラザ予定)

11月 講演会はおやすみ

12月8日(日)10～16時 杉山登志郎先生講演会(大分県教育会館)

＜熊本支部＞

※日程、内容などは変更する場合があります。会場は、その都度ご案内いたします。

期 日	研修内容・講師		備 考
2月9日(土)	支部総会	総会	会費納入 (～1/30)
	講演会	「思春期・青年期の支援」 元ファイアットビル TEACCH センタークリニカルディレクター Steve Kroupa 氏 通 訳 田中 恭子 氏 (益城病院)	
4月27日(土)	基礎講座	「自閉症の特性と対応」 福岡市発達障がい者支援センター ゆうゆうセンター 所長 緒方よしみ 氏	* 定例運営 委員会は、 毎例会前後 を予定。
7月20日(土)	実践講座Ⅰ	「外出用スケジュールの作り方」 自閉症スペクトラム支援センター メビウス 橋口美代子 氏	
9月14日(土)	実践講座Ⅱ	「未定」 講師 未定	
11月23日(土) ～24日(日)	ワークショップ	「評価の仕方」 川崎医療福祉大学 諏訪利明 氏	
H26年 1月18日 (土)	支部総会 及び勉強会	支部総会 勉強会	

